

はじめての『遠野物語』

4月「山人の話」と南方熊楠 5月「魂の行方の話」と平田篤胤 6月「オシラサマの話」と泉鏡花

講師 『柳田國男全集』編集委員 小田富英

『遠野物語』は、今から百十四年前、急激な近代化の波のなかで、この国の未来を憂いた少壮官僚柳田國男が、たった 350 部、おそろおそろ出版した書と言われています。その『遠野物語』は今や古典になりつつあり、その読み方も多様多彩、影響力も研究領域からサブカルチャー分野まで、留まることのない勢いで広まっています。最近、外国の人たちからも、今まで以上に熱い関心が寄せられています。



遠野 善明寺の「供養絵額」

私は、この『遠野物語』を読む講座において、テーマ別の第Ⅰ期、さらに119話全話を順番(柳田が考えた配列順)に読む第Ⅱ期と、参加者の皆さまと読み進めてきました。次は、個々の課題解決の読みの世界に入るわけですが、その前にもう一度原点に戻り、「読みたかったけれど、途中で諦めてしまった」方々にも広く呼びかけをさせていただくことになりました。4月期は、「はじめての『遠野ものがたり』」の第四弾。『遠野物語』を代表する話を、同時代を生きた二人と、柳田の人生の底流に流れる平田国学の思想を織りまぜて読んでみたいと考えています。『遠野物語』ファンの方も今まで通り大歓迎です。

※講師紹介は裏面をご覧ください。

日時 2024年 4/25、5/23、6/27 木曜 13:30-15:00

回数 3回 講座形態 教室・オンライン自由講座

受講料

会員 10,560円 [受講料 9,900円 / 教材費 165円 / 設備費 495円]

一般 13,860円 [受講料 13,200円 / 教材費 165円 / 設備費 495円]

入会金は5,500円。70歳以上は入会無料、証明書が必要です

持ち物 当日資料を配布します。

1日体験 『「山人の話」と南方熊楠』

日時 2024年 4/25 木曜 13:30-15:00

会員 3,850円 [受講料 3,630円 / 教材費 55円 / 設備費 165円]

一般 4,950円 [受講料 4,730円 / 教材費 55円 / 設備費 165円]